

令和3年1月19日

京都府立医科大学附属病院勤務職員における  
新型コロナウイルス感染者の発生について（最終報）

京都府立医科大学附属病院長 夜久 均

令和3年1月11日（月）に、当院医師1名が新型コロナウイルスに感染していることが確認されたことから、当該病棟の患者・医療従事者全員に2回に渡りPCR検査を実施しておりました。検査の結果、全員陰性でしたのでお知らせいたします。

この結果を受け、当該病棟では本日1月19日（火）より新規入院患者の受け入れを再開いたします。

引き続き、感染予防策に万全を期しながら、診療を継続してまいります。